

令和7年度河内採択地区教科用図書採択協議会議事録（議事要旨）

令和6年7月17日（水）午前9時～・18日（木）午前9時～
宇都宮市教育センター コミュニティホール

【出席委員】

小堀茂雄会長，氷室清副会長，檜山昌彦委員，亀山弘美委員，吉田由美委員，
松枝健一委員，松村啓子委員，上原秀一委員，福田治久委員，河田麻知子委員
（小学校）半田文男委員，小嶋真穂委員，大森信二委員，須藤 崇弘委員
（中学校）東原定雄委員，増渕忍委員，金橋由美子委員，上岡尚子委員

【事務局】

事務局長（宇都宮市教育委員会事務局学校教育課長，宇都宮市教育委員会教育センター所長），事務局次長（宇都宮市教育委員会事務局学校教育課指導グループ係長，宇都宮市教育委員会教育センター相談グループ係長），書記（宇都宮市教育委員会事務局学校教育課指導主事，宇都宮市教育委員会教育センター指導主事，上三川町教育委員会事務局教育総務課指導主事） 計24名

【傍聴者】

20名

（第1日）

1 開会

2 協議会委員紹介

3 会長あいさつ

4 日程説明

事務局が，令和7年度使用教科用図書採択事務における日程について説明した。

5 議事

（1）報告事項

- ① 河内採択地区教科用図書採択協議会規約について
- ② 令和6年度教科用図書採択事務について
- ③ 令和7年度使用教科用図書の採択の基本方針について
- ④ 調査研究における観点について
- ⑤ 特別支援学級用教科用図書等について

（2）選定協議及び採決

- ① 中学校 国語
- ② 中学校 書写
- ③ 中学校 地理
- ④ 中学校 歴史
- ⑤ 中学校 国語・書写・地理・歴史の採決
- ⑥ 中学校 公民
- ⑦ 中学校 地図
- ⑧ 中学校 数学
- ⑨ 中学校 理科
- ⑩ 中学校 公民・地図・数学・理科の採決
- ⑪ 中学校 音楽一般
- ⑫ 中学校 音楽器楽合奏
- ⑬ 中学校 美術
- ⑭ 中学校 音楽一般・音楽器合・美術の採決

6 事務連絡

事務局が教科書採択に係る今後の日程等について連絡した。

7 閉会

(第2日)

1 開会

2 日程説明

事務局が、令和7年度使用教科用図書採択事務における日程について説明した。

3 議事

(1) 選定協議及び採決

- ① 中学校 保健体育
- ② 中学校 技術
- ③ 中学校 家庭
- ④ 中学校 英語
- ⑤ 中学校 道徳
- ⑥ 中学校 保健体育・技術・家庭・英語・道徳の採決
- ⑦ 中学校 特別支援学級
- ⑧ 中学校 特別支援学級の採決
- ⑨ 小学校 特別支援学級
- ⑩ 小学校 特別支援学級の採決

4 事務連絡

事務局が教科書採択に係る今後の日程等について連絡した。

5 閉会

1 種目 国語

2 選定協議

(1) 調査報告

調査研究の対象となった教科用図書の調査結果について報告した。（「参考1」，「参考2」参照）

(2) 教科書閲覧

調査研究を行った教科用図書の見本本を採択協議会委員が閲覧し，報告内容の確認を行うとともに，相互の比較検討を行った。

3 採択協議会における主な協議内容（「⇒」は，説明員の回答）

- ・ 二次元コードによるデジタルコンテンツの例について，説明願う。
⇒ 作者や作品の紹介，話し合い等の活動例の動画，漢字や文法のドリル，教材に関わる資料など，補足的なコンテンツが整備されている。
- ・ 東京書籍の「読書への招待」において，映画化やアニメーション化された作品が取り上げられており，生徒の関心を高める内容であると感じた。また，光村図書出版の古典の朗読のデジタルコンテンツに関心をもった。
- ・ 本地区において読書習慣の形成を重視している中，東京書籍の読書に係る内容は生徒の関心を高めるものであり，実態に即していると感じた。また，光村図書出版では図書の活用例などが示され，学びやすいと感じた。

4 採択協議会における選定結果（「参考1」，「参考2」参照）

(1) 選定した発行者（東京書籍）

(2) 主な理由

- ・ 本書は，言葉に着目して文学的文章を読み深めるための具体的な手立てが「てびき」に示されており，生徒が登場人物の行動や物語の展開の意味を考えたり，登場人物と自分との考え方の違いを比較したりすることで，主体的・対話的で深い学びの実現に資するよう工夫されている。
- ・ また，「読書への招待」で生徒の興味・関心を高めるような，映画化やアニメーション化された作品を取り上げたり，読書の価値や意義について述べた著名人の言葉を掲載したりするなど，生徒の読書に対する興味を喚起することができるよう工夫されている。
- ・ さらに，「学びを支える言葉の力」として，全学年を通して「情報と論理の学び」「文学の学び」「対話の学び」の三つが設定されており，学年や発達の段階に応じて，「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の学習を支える基礎的な力を習得することができるよう工夫されている。

1 種目 書 写

2 選定協議

(1) 調査報告

調査研究の対象となった教科用図書の調査結果について報告した。（「参考1」、「参考2」参照）

(2) 教科書閲覧

調査研究を行った教科用図書の見本本を採択協議会委員が閲覧し、報告内容の確認を行うとともに、相互の比較検討を行った。

3 採択協議会における主な協議内容（「⇒」は、説明員の回答）

- ・ 他教科等との関連について、東京書籍では、具体的にどのような教科等との関連が示されているか、説明願う。
⇒ 総合的な学習の時間、社会体験学習、防災教育などであり、関連するページには、教科等名が明記されている。
- ・ 生徒が行書に親しみ、興味をもって学習に取り組めるようにするため、どのような工夫が見られたか、説明願う。
⇒ 各者とも工夫されており、教育出版では、行書への関心が高まるようにするため、時間制限を設けて書いた作品について、振り返りを行う学習活動が設定されていた。

4 採択協議会における選定結果（「参考1」、「参考2」参照）

(1) 選定した発行者（東京書籍）

(2) 主な理由

- ・ 本書は、既習事項の実際の生活への生かし方について、話し合うことを通して目標の達成を図る学習活動が設定されている。
- ・ また、行事等に関連した「生活に広げよう」や、3年間使用できる「書写活用ブック」により、学習内容を日常生活の多様な場面で生かせるよう工夫されている。
- ・ さらに、「見つけよう・確かめよう・生かそう」という三部構成になっており、学習に取り組みやすいよう工夫されている。

1 種目 社会（地理的分野）

2 選定協議

(1) 調査報告

調査研究の対象となった教科用図書の調査結果について報告した。（「参考1」、「参考2」参照）

(2) 教科書閲覧

調査研究を行った教科用図書の見本本を採択協議会委員が閲覧し、報告内容の確認を行うとともに、相互の比較検討を行った。

3 採択協議会における主な協議内容（「⇒」は、説明員の回答）

- ・ 本採択地区に関わる内容がどのように取り上げられているか、説明願う。
⇒ 帝国書院では、「未来に向けて」コーナーにおいて、宇都宮市の「公共交通を活用したまちづくり」を取り上げている。また、教育出版は「関東地方」の学習において、ライトラインの写真を紹介している。
- ・ 防災に関して、各者の取り扱いはどのような状況か、説明願う。
⇒ 各者とも「日本の地域的特色」の中で自然災害を取り上げており、防災・減災の観点で学習を進めることができるよう配慮されている。
- ・ 地理への興味・関心を高めるためのより効果的な場面について説明願う。
⇒ 各者、単元の導入や終末における工夫が見られた。特に、導入の学習における写真資料などが効果的であるとの調査結果であった。
- ・ 領土・領海の扱いに関して問題がないか、説明願う。
⇒ 各者とも政府見解に即した記述となっており、問題はない。

4 採択協議会における選定結果（「参考1」、「参考2」参照）

(1) 選定した発行者（帝国書院）

(2) 主な理由

- ・ 本書は、「学習を振り返ろう」のコーナーで、節をつらぬく課題を振り返るとともに、新たな疑問や探究したいことを書き出す欄を設け、主体的に学べるよう配慮されている。
- ・ また、各章の導入の「写真で眺める」では、地域の姿が見える写真資料が提示されており、生徒の興味・関心を高められるよう考慮されている。
- ・ さらに、章や節の問いが、毎時間、繰り返し提示されており、生徒が見通しをもって学習に取り組めるよう配慮されている。

1 種目 社会（歴史的分野）

2 選定協議

(1) 調査報告

調査研究の対象となった教科用図書の調査結果について報告した。（「参考1」，「参考2」参照）

(2) 教科書閲覧

調査研究を行った教科用図書の見本本を採択協議会委員が閲覧し，報告内容の確認を行うとともに，相互の比較検討を行った。

3 採択協議会における主な協議内容（「⇒」は，説明員の回答）

- ・ 全者で学習課題が提示されており，調査員会において本採択地区の生徒の実態として指摘されている，複数の資料を読み取って解釈する力を育成する上で，非常に重要なことであると感じた。
- ・ 日本文教出版では，生徒の「対話」を基に，課題解決に向うことができるよう工夫されていると感じたが，他者においても同様の工夫が見られたか，説明願う。
⇒ 東京書籍で，対話によって問いを立てるという点で工夫が見られた。
- ・ 生徒が本文中の重要語句を調べる際，巻末の用語解説ページ等が活用しやすいのか，各ページの側注に示された方が活用しやすいのか，説明願う。
⇒ 日本文教出版の側注の用語解説は，生徒が見開きのページを閉じずに重要な語句を確認できる点で活用しやすく，また，若手の教員にとっても，生徒の目線で授業を組み立てられ，有効であるという意見があった。
- ・ 各者の領土や領海に関する記述，歴史に関する記述について，説明願う。
⇒ 政府見解や学習指導要領に基づく記載となっており，問題はない。

4 採択協議会における選定結果（「参考1」，「参考2」参照）

(1) 選定した発行者（日本文教出版）

(2) 主な理由

- ・ 本書は，各時代の導入のページで，前後の時代の様子を表す資料の比較を基に話し合うことを通し，新しい時代の問いと予想を立てる活動を提案するなど，主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。
- ・ また，ページの側注に掲載されている基本用語や巻末の歴史学習の基礎資料が，分かりやすい表現でまとめられており，基礎的・基本的な知識の習得と活用を促すよう工夫されている。
- ・ さらに，各単元に，単元を貫く問いを設定し，各時間の「学習課題」を積み重ねながら，追究，解決し，振り返る構造になっており，課題解決的な学習を通して，時代を大観することができるよう工夫されている。

1 種目 社会（公民的分野）

2 選定協議

(1) 調査報告

調査研究の対象となった教科用図書の調査結果について報告した。（「参考1」、「参考2」参照）

(2) 教科書閲覧

調査研究を行った教科用図書の見本本を採択協議会委員が閲覧し、報告内容の確認を行うとともに、相互の比較検討を行った。

3 採択協議会における主な協議内容（「⇒」は、説明員の回答）

- ・ 他教科等との関連について、帝国書院が特によかった点について、説明願う。
⇒ 関連する教科や領域名、語句が掲載されており、教員が確認したり、生徒が主体的に学習を進めたりする上で分かりやすいものになっている。
- ・ 知識・技能の習得を図る上で、東京書籍、教育出版、帝国書院の段階的なまとめや、関係する活動を促す工夫について、期待できる効果を説明願う。
⇒ 章の学習内容全体をまとめることが苦手な生徒にとって、小さな区切りで、段階的にまとめを積み重ねていく方法は、知識及び技能の習得に効果的であり、特に帝国書院で工夫が見られた。
- ・ 東京書籍と帝国書院の18歳の選挙権に関する資料の内容などについて、調査員会でどのような意見が出たか、説明願う。
⇒ 両者とも3項目の特設ページが設定されており、いずれも、政治参加や社会参画への自覚を深める上で有効な資料であるとの意見が出された。

4 採択協議会における選定結果（「参考1」、「参考2」参照）

(1) 選定した発行者（帝国書院）

(2) 主な理由

- ・ 本書は、「18歳への準備」を設け、18歳になるまでに習得しておきたい実践的な知識について、本文の内容と関連付けながら学習することができるよう工夫されている。
- ・ また、「YES,NO」では、社会に見られる課題に対する賛成・反対の意見が示されており、本文の学習内容を基に議論するための手掛かりを得ることができるよう工夫されている。
- ・ さらに、各章のまとめの活動は、「節の振り返り」「章の振り返り」、次の章の「探究学習への準備」の順に構成されており、各時間のまとめを総合して「章の問い」を解決し、未来に生かすことができるよう工夫されている。

1 種目 地 図

2 選定協議

(1) 調査報告

調査研究の対象となった教科用図書の調査結果について報告した。（「参考1」，「参考2」参照）

(2) 教科書閲覧

調査研究を行った教科用図書の見本本を採択協議会委員が閲覧し，報告内容の確認を行うとともに，相互の比較検討を行った。

3 採択協議会における主な協議内容（「⇒」は，説明員の回答）

- ・ SDGs 17のゴールについて両者に掲載されているとの調査結果だが，量的，質的な違いについて，説明願う。
⇒ SDGsに関する資料は両者とも十分であるが，帝国書院の方が，より多くの項目と関連した資料を豊富に掲載しているという意見があった。
- ・ 領土・領海の扱いに関して問題がないか，説明願う。
⇒ 両者とも政府見解に即した記述となっており，問題はない。
- ・ 以前の地図には，地図の図法や特徴を解説する記述があったが，現在の地図にはそうした記述があるのか，説明願う。
⇒ 紙面における図法や特徴に関する記述は少ないが，二次元コードから，詳しく確認することができるようになっている。なお，両者とも，巻頭の世界地図ではメルカトル図法，各分布図ではモルワイデ図法を使用するなど，資料の特徴に応じて使い分けられるよう配慮されている。

4 採択協議会における選定結果（「参考1」，「参考2」参照）

(1) 選定した発行者（帝国書院）

(2) 主な理由

- ・ 本書は，主題を学習するページに，資料を活用して様々な課題を解決する問いが掲載され，社会の変化に関心をもって課題を追究したり，補充的な学習や発展的な学習に主体的に取り組んだりできるよう配慮されている。
- ・ また，郷土との関連について，日光国立公園や渡良瀬遊水池が写真とともに掲載されており，生徒が身近な地域の事例を想起しながら理解を深めることができるよう配慮されている。
- ・ さらに，理科の学習に係る線状降水帯や台風の仕組み，家庭科の学習に係る「日本の伝統的な料理」などを取り上げ，他教科との関連を図ることができるよう配慮されている。

1 種目 数 学

2 選定協議

(1) 調査報告

調査研究の対象となった教科用図書の調査結果について報告した。（「参考1」、「参考2」参照）

(2) 教科書閲覧

調査研究を行った教科用図書の見本本を採択協議会委員が閲覧し、報告内容の確認を行うとともに、相互の比較検討を行った。

3 採択協議会における主な協議内容（「⇒」は、説明員の回答）

- ・ 中学校数学では正負の数の計算でつまづく傾向があると認識しており、教科書には、計算の説明図が掲載されていたが、実際に生徒は図で負の数の意味を理解できるのか、説明願う。
⇒ 図を基に考えることで、負の数の計算の意味について理解が深まる。また、復習が必要になった際にも、図に戻って振り返ることで理解しやすくなる。
- ・ 本採択地区で行われている習熟度別学習やチーム・ティーチングでは、基礎的な問題や発展的な問題がどのように扱われているのか、説明願う。
⇒ 授業では、生徒の習熟の程度に応じて問題を使い分けることにより、一人一人の状況に応じた指導ができるように工夫している。
- ・ 単元の導入では、生活に密着した内容を提示するなどして、意欲を高めることが大切だと思うが、工夫が見られた例を、説明願う。
⇒ 東京書籍では、生徒が疑問を感じる場면을提示し、数学と結び付けて関心を引き出せるよう考慮されており、日本文教出版では、身近な事柄を取り上げ、生徒が数学を使って解決できるよう考慮されていた。

4 採択協議会における選定結果（「参考1」、「参考2」参照）

(1) 選定した発行者（東京書籍）

(2) 主な理由

- ・ 本書は、「学び方」で疑問から解決、振り返りまでの学習過程を可視化しながら発問を提示し、生徒が主体的に取り組み、対話を通して考えを深める活動ができるよう工夫されている。
- ・ また、各章の導入において、生徒が疑問を感じる場面と数学的事象を関連させることにより、興味・関心を引き出せるよう考慮されている。
- ・ さらに、「活用の問題」が掲載されており、生徒がそれぞれの理解度に応じて、発展的な学習に取り組むことができるよう配慮されている。

1 種目 理 科

2 選定協議

(1) 調査報告

調査研究の対象となった教科用図書の調査結果について報告した。（「参考1」、「参考2」参照）

(2) 教科書閲覧

調査研究を行った教科用図書の見本本を採択協議会委員が閲覧し、報告内容の確認を行うとともに、相互の比較検討を行った。

3 採択協議会における主な協議内容（「⇒」は、説明員の回答）

- ・ 理科の授業においては安全性の確保が重要であるが、各教科書における配慮について、説明願う。
⇒ 各者、色やマークを活用し、生徒が注意点を一目で把握できるよう工夫されており、さらに、啓林館では「ステップ0 安全を確認する」が設けられ、実験を行う前段階で配慮すべき事項が記載されている。
- ・ 啓林館は単元指導順の入れ替えの工夫について記述されているが、他者の状況について、説明願う。
⇒ 各者とも、領域毎に学習内容がまとめて配列され、単元指導順の入れ替えに応じる配慮がされている。啓林館では、更に、インデックスへ領域を明示することにより、学習している領域が分かるよう工夫されている。
- ・ 本採択地区の生徒の実態として、日常生活と関連付けて考えることに課題があると報告があったが、対応策となる教科書の工夫例について説明願う。
⇒ 啓林館では「部活ラボ」などで日常生活との関連が図られ、東京書籍では「社会につながる科学」でキャリア教育との関連が工夫されていた。

4 採択協議会における選定結果（「参考1」、「参考2」参照）

(1) 選定した発行者（ 新興出版社啓林館 ）

(2) 主な理由

- ・ 本書は、各単元に「探Q実験」が設定され、生徒が主体的・対話的に探究できるとともに、「探究のふり返し」を通して理解を深めることができるよう工夫されている。
- ・ また、「Review 振り返ろう」や「学習のまとめ」が設けられ、基礎的知識の定着を図ることができるよう配慮されている。
- ・ さらに、「サイエンス資料 実験を正しく安全に進めるために」が物質領域の前に設けられ、安全について学んだ上で実験を行えるよう配慮されている。

1 種目 音楽（一般）

2 選定協議

(1) 調査報告

調査研究の対象となった教科用図書の調査結果について報告した。（「参考1」、「参考2」参照）

(2) 教科書閲覧

調査研究を行った教科用図書の見本本を採択協議会委員が閲覧し、報告内容の確認を行うとともに、相互の比較検討を行った。

3 採択協議会における主な協議内容（「⇒」は、説明員の回答）

- ・ 教科書に、日光和楽踊り、八木節などの郷土の音楽や、ミュージカル、映画など生活に身近な音楽が見られたが、調査員からの意見を、説明願う。
⇒ 日常で触れる機会がある音楽、授業でしか触れられない音楽の設定が両者とも配慮されており、それらの扱い方や指導の仕方を話し合った。
- ・ 「赤とんぼ」など、両者に設定されている教材は音楽科での学習が指定されているのか伺う。
⇒ 「赤とんぼ」のように、共通教材と言って、3年間の中で必ず学ばなければならない教材がある。共通教材を学習する学年や時期の指定は無く、教科書によって異なる。
- ・ 共通教材以外で両者が設定している教材の特徴を説明願う。
⇒ 合唱コンクールで活用する教材について、教育出版は昔からの名曲、教育芸術社は新しい曲が掲載されており、先輩たちが歌っていた曲を歌いたい、新しい曲を歌ってみたいという興味をもてるものになっている。

4 採択協議会における選定結果（「参考1」、「参考2」参照）

(1) 選定した発行者（教育芸術社）

(2) 主な理由

- ・ 本書は、「学びのコンパス」の歌唱活動と鑑賞活動において、学び合いを活性化させるための活動例を示し、主体的・対話的で深い学びができるよう考慮されている。
- ・ また、1・2年では、「リズムゲーム」「リズムアンサンブル」「リズムチャレンジ」を設定し、基礎的なリズムから複雑なリズムを使った表現活動をすることで、音楽表現の基礎を身に付けることができるよう考慮されている。
- ・ さらに、鑑賞教材の「Challenge!!」では、関連する楽曲を取り上げるなどして、発展的な学習につなげられるよう配慮されている。

1 種目 音楽（器楽合奏）

2 選定協議

(1) 調査報告

調査研究の対象となった教科用図書の調査結果について報告した。（「参考1」，「参考2」参照）

(2) 教科書閲覧

調査研究を行った教科用図書の見本本を採択協議会委員が閲覧し，報告内容の確認を行うとともに，相互の比較検討を行った。

3 採択協議会における主な協議内容（「⇒」は，説明員の回答）

- ・ 器楽合奏は知識・技能が中心であると認識しており，演奏の技能に個人差があることへの対応と器楽合奏について学びを深める例について，説明願う。
⇒ 知識・技能にこだわると演奏の楽しさが半減してしまうため，教育芸術社のアーティキュレーションなど，きれいな音の出し方を思考力，判断力，表現力の観点で学べるようにすることが必要である。
- ・ 教科書に設定されている教材に関する調査員の意見について，説明願う。
⇒ 音楽一般の教科書で扱われている鑑賞曲，映画音楽やアニメ音楽などが設定され，興味・関心をもちやすいとの意見が出された。
- ・ 教育出版の調査結果の，同一楽曲が基礎の練習曲とアンサンブル曲として掲載されているが，同じ調での編曲が望まれるとは，どのようなことか伺う。
⇒ 基礎としてハ長調で主旋律をギターで演奏した楽曲を，アンサンブルではハ長調で，伴奏をギター，主旋律をリコーダーで演奏するよう扱っているが，同じ調であれば，発展的なギターアンサンブルにつながる。

4 採択協議会における選定結果（「参考1」，「参考2」参照）

(1) 選定した発行者（教育芸術社）

(2) 主な理由

- ・ 本書は，複数人で演奏する際に音を合わせたりまとめたりするコツが示されており，主体的で対話的な学びが実現できるよう工夫されている。
- ・ また，リコーダーの学習では，様々な奏法を取り上げ，生徒の発達段階を踏まえた難易度を選択することで，興味・関心を高めながら学習できるよう考慮されている。
- ・ さらに，強弱記号を記載しない楽譜を掲載することで，生徒がパートの役割や曲にふさわしい表現を工夫する発展的な学習につながるよう工夫されている。

1 種目 美術

2 選定協議

(1) 調査報告

調査研究の対象となった教科用図書の調査結果について報告した。（「参考1」、「参考2」参照）

(2) 教科書閲覧

調査研究を行った教科用図書の見本本を採択協議会委員が閲覧し、報告内容の確認を行うとともに、相互の比較検討を行った。

3 採択協議会における主な協議内容（「⇒」は、説明員の回答）

- ・ 美術における他教科との関連に関して、説明願う。
⇒ 生活や社会の中の美術や美術文化との豊かな関わりが大切であり、他教科等とのつながりが教科書に掲載され、視点が設けられていることで、生活や社会の中の美術についての気付きが生まれてくる。他教科等の学びとの関連を図り、教科等横断的な学習を充実できるとよい。
- ・ 生活を豊かにする美術の働きに気付いていない生徒への手立てとして、工夫されている教科書の内容について、説明願う。
⇒ 開隆堂出版においては、「吹き出し」、光村図書出版においては、「POINT」、日本文教出版においては、「造形的な視点」が設けてあり、生徒の絵に対する気付きを生むヒントになるよう工夫されている。
- ・ 生活の中の美術の役割として、光村図書出版においては、本採択地区の生徒になじみのあるライトラインが掲載されており、身近なものを美術として考えるきっかけとして効果的であると感じた。

4 採択協議会における選定結果（「参考1」、「参考2」参照）

(1) 選定した発行者（光村図書出版）

(2) 主な理由

- ・ 本書は、鑑賞や作品制作の場面において、話し合い活動が設定されており、対話的な学びが充実するよう工夫されている。
- ・ また、「みんなの工夫」において、同じ中学生が作品に込めた心情や表現方法を具体的に示すことで、作者の表現の意図を組み取ることができるよう工夫されている。
- ・ さらに、他教科とのつながりが統一された表記の仕方で書かれており、生徒が教科等横断的な学習を意識することができるよう工夫されている。

1 種目 保健体育

2 選定協議

(1) 調査報告

調査研究の対象となった教科用図書の調査結果について報告した。（「参考1」，「参考2」参照）

(2) 教科書閲覧

調査研究を行った教科用図書の見本本を採択協議会委員が閲覧し，報告内容の確認を行うとともに，相互の比較検討を行った。

3 採択協議会における主な協議内容（「⇒」は，説明員の回答）

- ・ 社会の諸課題について，新しい資料が大切だと思うが，各者の違いについて，説明願う。
⇒ Gakken では，性の多様性，交通事故の特徴や中学生の自転車事故などについて，掲載されている資料が新しいものであるとの意見が出された。
- ・ 思考力，判断力，表現力を育成するためには話し合い活動が必要であるが，話し合い活動について工夫されているものがあれば，具体例を説明願う。
⇒ Gakken では，心の発達の単元におけるコミュニケーション活動の演習，自己形成の単元における「自分の取扱い説明書」，「自分をほめたい」という体験を話し合う活動などが設定され，工夫されている。
- ・ 総括表では，ユニバーサルデザイン化について，東京書籍の資料等の配置，Gakken の見やすく落ち着いた紙面がともに◎と報告されているが，生徒にとってどちらがよりよいのか，調査員の意見を説明願う。
⇒ どちらも効果的であるとの意見であった。色については，多用されているよりも色味が落ちている方が見やすいという意見があった。

4 採択協議会における選定結果（「参考1」，「参考2」参照）

(1) 選定した発行者（ Gakken ）

(2) 主な理由

- ・ 本書は，「学びを生かす」では，話し合ったり自分の考えをまとめたりする活動が設定されており，考えを深めることができるよう工夫されている。
- ・ また，掲載されている資料が新しく，性の多様性では，LGBT や SOGI について取り上げ，「体の性」「心の性」「関心を持つ性」を示すなど，性意識には多様な考え方や感じ方があることを理解できるよう配慮されている。
- ・ さらに，学習課題やキーワードが示されており，本時の学習内容が明確になることで見通しを持つことができるよう考慮されている。

1 種目 技術・家庭（技術分野）

2 選定協議

(1) 調査報告

調査研究の対象となった教科用図書の調査結果について報告した。（「参考1」、「参考2」参照）

(2) 教科書閲覧

調査研究を行った教科用図書の見本本を採択協議会委員が閲覧し、報告内容の確認を行うとともに、相互の比較検討を行った。

3 採択協議会における主な協議内容（「⇒」は、説明員の回答）

- ・ 技術は危険を伴う作業があるが、安全面の配慮について、説明願う。
⇒ どの教科書も危険を伴う作業には安全マークがついており、注意喚起がされている。加えて、各者ともにガイダンスにおいて、安全面を指導する資料が掲載されている。
- ・ 総括表によると◎が多いのは東京書籍であるが、調査員からはどのような点が評価されたのか、説明願う。
⇒ 東京書籍は、問題解決例が五段階のサイクルで考えられるよう工夫されており、特に、新たな問題の発見が示されている点が評価されていた。
- ・ 問題解決学習に取り組ませるためには、他の教科での学習を生かすことが大切であると考え。他教科等との関連について、説明願う。
⇒ 東京書籍は、他教科等との関連がある内容については、学年や教科、単元名等が記載されている。

4 採択協議会における選定結果（「参考1」、「参考2」参照）

(1) 選定した発行者（東京書籍）

(2) 主な理由

- ・ 本書は、技術の見方・考え方について、図やイラストを用いて分かりやすく示すことにより、学習の見通しをもって進められるよう配慮されている。
- ・ また、「問題解決例」では「問題の発見、課題の設定」から「新たな問題の発見」までの五段階で提示した後、「もっと問題解決」として、更なる問題の発見や課題の設定について例示されており、生徒の興味・関心を高め、考えを広げられるよう工夫されている。
- ・ さらに、他教科等との関連がある内容についてはその都度、学年、教科等、単元名などが記載されており、他教科等の内容を確認しながら学習を進められるよう配慮されている。

1 種目 技術・家庭（家庭分野）

2 選定協議

(1) 調査報告

調査研究の対象となった教科用図書の調査結果について報告した。（「参考1」、「参考2」参照）

(2) 教科書閲覧

調査研究を行った教科用図書の見本本を採択協議会委員が閲覧し、報告内容の確認を行うとともに、相互の比較検討を行った。

3 採択協議会における主な協議内容（「⇒」は、説明員の回答）

- ・ 消費者生活で、各者ともキャッシュレスに触れているが、成人年齢に達していない中学生に指導するための工夫について、各者の特徴を説明願う。
⇒ 東京書籍では、変化の激しい社会への対応、教育図書では、消費者としての自覚を促す等の点から工夫されている。開隆堂出版では、消費者教育を他の学習内容と関連付けて具体的に示し、消費者として実践的な態度を身に付けられるよう工夫されている。
- ・ 食品添加物について更に詳しく扱い、健康への影響に関する記載があってもよいと感じたが、授業においてどのように指導しているのか、説明願う。
⇒ 加工食品の学習において食品添加物を取り上げ、生徒が表示や基準値などについて理解し、用途に応じた選択ができるよう指導している。
- ・ 開隆堂出版でLGBTQの話題が取り上げられているが、家庭科の学習においてLGBTQを扱う趣旨について、説明願う。
⇒ 家族や家庭生活が多様化する中、家庭科では、家族・家庭生活の学習において、家族関係、生活の仕方など家族の形は様々であることを学ぶ中で、LGBTQについて学習する。

4 採択協議会における選定結果（「参考1」「参考2」参照）

(1) 選定した発行者（開隆堂出版）

(2) 主な理由

- ・ 本書は、実践的・体験的な活動を通して学ぶことのできる活動を取り入れ、主体的に調べたり、深めたりできるよう配慮されている。
- ・ また、ヤングケアラーや、LGBTQ等の事例が示され、現代的な話題について取り上げられている。
- ・ さらに、生徒の進路やキャリアにつながる内容を多く紹介し、これからの家庭生活や社会の在り方について学習を深められるよう配慮されている。

1 種目 英 語

2 選定協議

(1) 調査報告

調査研究の対象となった教科用図書の調査結果について報告した。（「参考1」、「参考2」参照）

(2) 教科書閲覧

調査研究を行った教科用図書の見本本を採択協議会委員が閲覧し、報告内容の確認を行うとともに、相互の比較検討を行った。

3 採択協議会における主な協議内容（「⇒」は、説明員の回答）

- ・ 光村図書出版には小中連携の視点について記載されているが、詳しく説明願う。
⇒ 小学校では音声面を中心に学習しており、文字の習得に困難が見られる生徒もいるため、中学校の入門期においては、音声面での復習を大切にしながら、次第に音声と文字を結び付ける活動が設定されている。
- ・ 多くの教科書について、既習事項を生かして表現できるようにするための工夫が挙げられているが、具体的な例を説明願う。
⇒ 複数の単元の後に、学習のまとめの活動が設定され、既習を組み合わせで表現する活動ができるよう工夫されている。
- ・ 授業では紙の教科書と学習者用デジタル教科書を同時に活用するのか伺う。また、デジタル教科書の機能について、説明願う。
⇒ 紙の教科書を見て皆で音声を聞く活動、各自が端末で音声を再生し、個別練習する活動など、使い分けている。デジタル教科書では、文字を見ながら音声を再生できる他、書き込み機能や録音機能などが設定されている。

4 採択協議会における選定結果（「参考1」、「参考2」参照）

(1) 選定した発行者（光村図書出版）

(2) 主な理由

- ・ 本書は、「You Can Do It!」で既習事項を活用しながら自分の考えを表現する活動が設定され、対話的で深い学びにつながるよう工夫されている。
- ・ また、1年「Let's Be Friends!」では、小学校の学習を踏まえた音声でのコミュニケーション活動から、音と文字を結び付けていく内容につなげることで、小中接続が円滑に図れるよう工夫されている。
- ・ さらに、各単元が、「扉」「Part」「Goal」で構成され、段階的に学びが進められるよう工夫されている。

1 種目 道 徳

2 選定協議

(1) 調査報告

調査研究の対象となった教科用図書の調査結果について報告した。（「参考1」、「参考2」参照）

(2) 教科書閲覧

調査研究を行った教科用図書の見本本を採択協議会委員が閲覧し、報告内容の確認を行うとともに、相互の比較検討を行った。

3 採択協議会における主な協議内容（「⇒」は、説明員の回答）

- ・ 多くの教科書がいじめの問題を取り上げている中、東京書籍では、テーマごとに教材がまとまって配列されているとあるが、その効果を説明願う。
⇒ 複数の教材で連続して学ぶことで、いじめについて立場を変えて考えたり、道徳的諸価値について多面的・多角的に考えたりし、学びを深めることができる。
- ・ 道徳科の目標の達成に向けて効果的な教材が設定されているのはどの教科書かという視点で、調査員からどのような意見があったか、説明願う。
⇒ 各者が新たな教材を取り入れ工夫している中、東京書籍は生徒の気持ちが入り、自分との関わりで考えられる教材が豊富との意見が多かった。
- ・ 本採択地区の生徒の実態として、自分の思いを相手に伝えることの難しさが報告されたが、思いを伝えられるようにする工夫について、説明願う。
⇒ 多くの教科書において、小グループによる話合いの手立てが示され、役割演技などの話合いに取り組みやすい活動が設定されている。東京書籍では心情円を取り入れ、自分の考えを表現しやすいよう工夫されている。

4 採択協議会における選定結果（「参考1」「参考2」参照）

(1) 選定した発行者（東京書籍）

(2) 主な理由

- ・ 本書は、導入の場面において、短い詩やポスター、漫画など生徒が親しみやすい形式を取り入れ、生徒の関心が高まるよう工夫されている。
- ・ また、「考えよう」「見つめよう」「ぐっとふかめる」を通して、学んだことを自分のこととして捉えることができるよう配慮されている。
- ・ さらに、「Plus(プラス)」のコーナーにおいて、グループエンカウンターや役割演技などの体験的な学習が豊富に設定されている。

1 種目 小学校特別支援学級 学校教育法附則9条図書

2 選定協議

(1) 調査報告

調査研究の対象となった2種2点について、調査員4名で調査し、その結果を調査研究資料により報告した。（「参考3」参照）

(2) 図書閲覧

調査研究を行った全ての図書を採択協議会委員が閲覧し、調査研究および報告に対する確認を行うとともに、選定について検討を行った。

3 採択協議会における主な協議内容

- ・ 附則9条図書をもらった場合は、その年に他の教科書をもらうことはできないか。
⇒ その年に使う教科書として給与されるものであるため、1年間に1冊のみである。
- ・ 附則9条図書を使っている実績はあるのか。
⇒ 今年度、小学校においては附則9条図書を使用している児童はいない。
- ・ 「たべもの あいうえおの えほん」はイラストがやさしく描かれており、親しみやすいが、教科書として1年間使うものとしては十分ではない。
- ・ 「知育絵本 いちばんはじめのほんちず」は図柄もはっきりしていて見やすいが、地図として4年間使うものと考えれば十分ではない。

4 採択協議会における選定結果

(1) 「たべもの あいうえおのえほん」

- ・ 結果： 選定しない
- ・ 理由： 食べ物に関する語彙や表現、平仮名の習得が中心であり、学習指導要領に示す「情報の扱い方に関する事項」や「我が国の言語文化に関する事項」が取り扱われていないため十分とは言えない。

(2) 「知育絵本 いちばんはじめのほんちず」

- ・ 結果： 選定しない
- ・ 理由： 都道府県の県庁所在地や代表するものが分かりやすくまとめられているが、取り扱われている内容は国内のみで限定的であるため4年間で学ぶ内容としては、十分とは言えない。

1 種目 中学校特別支援学級 学校教育法附則9条図書

2 選定協議

(1) 調査報告

調査研究の対象となった8種10点について、調査員4名で調査し、その結果を調査研究資料により報告した。（「参考4」参照）

(2) 図書閲覧

調査研究を行った全ての図書を採択協議会委員が閲覧し、調査研究および報告に対する確認を行うとともに、選定について検討を行った。

3 採択協議会における主な協議内容

- ・ 「くらしに役立つ」シリーズについては、「改訂新版」となっているが、新たに調査するものということでよいか。
⇒ 「くらしに役立つ」シリーズについては、採択後4年が経過したものであるとともに、令和6年3月に改訂新版が出版された。
- ・ 「改訂新版 くらしに役立つ 国語」については、学習すべき内容が網羅されており、履歴書の書き方なども取り上げられているところが良かった。
- ・ 「ことばのこばこ」については、想像力豊かに言語感覚を身につけるにはよいが、より丁寧な指導が必要な特別支援学級の児童にとっては、分かりづらい。
- ・ 「改訂新版 くらしに役立つ 社会」については、分野としては網羅されているが、「歴史的分野」の内容が少ないことについて意見はあったか。
⇒ 生活に役立つような内容について学ぶため、「公民分野」が必要な生徒が多い。渋沢栄一についても取り上げられており、より身近に歴史を学ぶことができる。また、資料集などを用いて授業を行うことで補っていくことができる。
- ・ 「改訂新版 くらしに役立つ 家庭」については、情報量としては少ないが学ぶ内容としては適切に扱われていた。
- ・ 今年度、著作本や附則第9条図書を使用している生徒はどのくらいいるのか。
⇒ 今年度、著作本については国語7冊、数学6冊、附則9条図書については、国語3冊、数学3冊の使用がある。

4 採択協議会における選定結果

(1)「改訂新版 くらしに役立つ 国語」

- ・結果： 選定する
- ・理由： 学習指導要領に示す内容がバランス良く配列され、電話のかけ方や、メールの使い方など身近な題材が取り入れられている。

(2)「ことばのこぼこ」

- ・結果： 選定しない
- ・理由： 言葉遊びを通して、語彙を増やすことができるが、学習指導要領に示す「知識及び技能」の「言葉の特徴や使い方に関する事項」のみであり、国語科の目標を実現するための内容の取扱いが十分とは言えない。

(3)「改訂新版 くらしに役立つ 社会」

- ・結果： 選定する
- ・理由： 社会参加のための題材や、防災など身近な題材が幅広く取り上げられており社会的事象を総合的に捉え、生活に生かすことのできる内容である。

(4)「改訂新版 くらしに役立つ 数学」

- ・結果： 選定する
- ・理由： 数と式、関数や図形等の学習指導要領に示されている内容が幅広く取り上げられおり、実生活に結び付けて系統的・発展的に学習できるよう配慮されている。

(5)「あかまるさわって！」

- ・結果： 選定しない
- ・理由： 学習指導要領に示されている「数量」「図形」の一部に限定されており、「関数」や「データの活用」の内容が取り上げられていないため不十分である。

(6)「改訂新版 くらしに役立つ 理科」

- ・結果： 選定する
- ・理由： 「生命」、「地球、自然」、「物質、エネルギー」等、学習指導要領に示す理科の内容がバランスよく取り上げられており、実生活に結びつけて学ぶことができる。

(7) 「つくるたね 子どもも大人も楽しめる工作レシピ31」

- ・結果： 選定しない
- ・理由： 「表現」の内容に限定されており，絵や立体に表す活動や鑑賞に関する内容が不十分であるため，学習指導要領に示されている美術の目標及び内容に照らし合わせて不十分である。

(8) 「改訂新版 くらしに役立つ 保健体育」

- ・結果： 選定する
- ・理由： 学習指導要領に示す内容により構成され，健康で安全に生活するために必要なことや，病気や怪我をしたときの具体的な対応方法が分かりやすく書かれており，生徒の日常生活に役立つ内容である。

(9) 「改訂新版 くらしに役立つ 家庭」

- ・結果： 選定する
- ・理由： 生活の自立に向けた身近な内容が取り上げられており，学習指導要領に示す各内容および各項目の指導を系統的に行うことができる。

(10) 「あの子のきもち わたしのきもち」

- ・結果： 選定しない
- ・理由： 人間関係作りの内容に限定されており，学習指導要領に示されている道徳の目標及び内容に照らし合わせて不十分である。